

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, December, 2005

課長 関 勉 T. Seki 幹事 佐藤裕久 H. Sato
幹事 松本敏一 T. Matsumoto 幹事 (江崎裕介 Y. Ezaki)

12月の状況 (佐藤)

71P/Clark

12月22日 UT、J. Pittichova が Mauna Kea の 2.2-m 反射 + CCD で、2006年6月に回帰する 71P/Clark を再観測し、2夜目の観測を待っていたところ、上尾市の門田健一氏が12月24日 UT と 27日 UT、25-cm 反射 + CCD によって再観測に成功した。12月30日までに数箇所の天文台の観測があり、CCD 全光度は 17.5 から 18 等であった。(IAUC 8652)

高知市の村岡健治氏が計算した彗星年表 2005 の予報軌道 ($T = 2006$ 年 6 月 6.68582 日 TT) に対する T は -0.12 日であった。村岡氏によると、「この彗星、昔から残差がでこぼこになり、非重力の変動があるのでしょうか。」とのこと。

C/2005 E2 (McNaught)

南天から南西の夕方の空にあり、光度は 10 等後半から 10 等前半の明るさであった。コマの大きさは 1 から 2 といったところ。全光度眼視観測は、スペインの Juan José González (20 cm SCT x100) は、12月4.81日 UT、10.9等、dia 2.0 DC 5、12月19.77日 UT、10.4等、dia 2 DC 4 (25x100 双眼鏡)、12月30.80日 UT、10.5等、dia 2.5 DC 5、(20 cm SCT x100) と観測した。

C/2005 X1 (Beshore)

12月7.41日 UT、Edward C. Beshore は、Catalina の 0.68-m Schmidt 望遠鏡による Catalina Sky Survey の画像から拡散状で少し中央集光のある (視直径 15 の広がった p.a. 約 300° に向かって約 5 の尾のある) 彗星を発見した。(IAUC 8642, 2005 Dec. 9)

12月29日までに得た観測による軌道は、近日点通過日 (T) = 2005年7月7.58日 TT 近日点距離 (q) = 2.88 AU 軌道傾斜角 (i) = 92.1° の逆行の軌道であった。

その他発見された彗星は次のとおり。

C/2004 YJ₃₅ (LINEAR)

LINEAR によって小惑星状天体 2004 YJ₃₅ が発見されていたが、S. S. Sheppard が Las Campanas 天文台の 2.5-m Dupont 反射鏡によって得た 11月30.34日と12月1.33日 UT の CCD 画像から中央に集光したコマと幅約 1.5、p.a. 330° に約 10 の長さの尾があることがわかった。(IAUC 8637, 2005 Dec. 2)

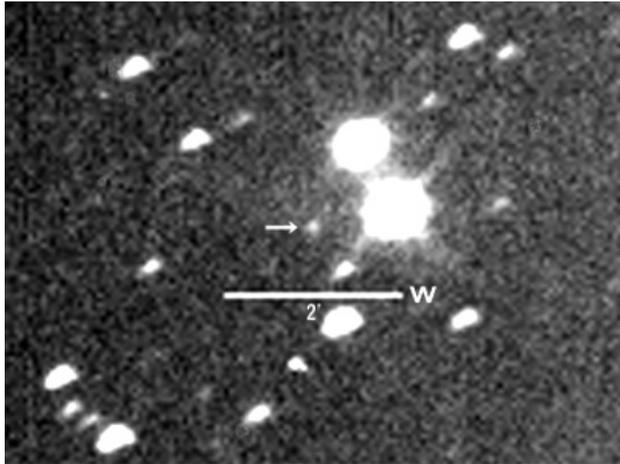
C/2005 Y2 (McNaught)

12月30.46日 UT、R. H. McNaught は、Siding Spring の 0.5-m Uppsala Schmidt 望遠鏡による CCD サーベイより、拡散状の彗星を発見した。12月31.44-31.46日 UT に得られた最

も良い露光では、およそ 10 のコマが確認された。(IAUC 8652, 2005 Dec. 31)

当初、12月30日から31日までの22個の観測から B. G. Marsden が近日点通過日(T)=2006年7月25.7日 TT 近日点距離(q) = 3.72 AU 軌道傾斜角(i) = 19.1° の暫定放物線軌道を計算した。その後の観測から、T = 2005年9月16日 TT、q = 4.36 AU であることがわかった。

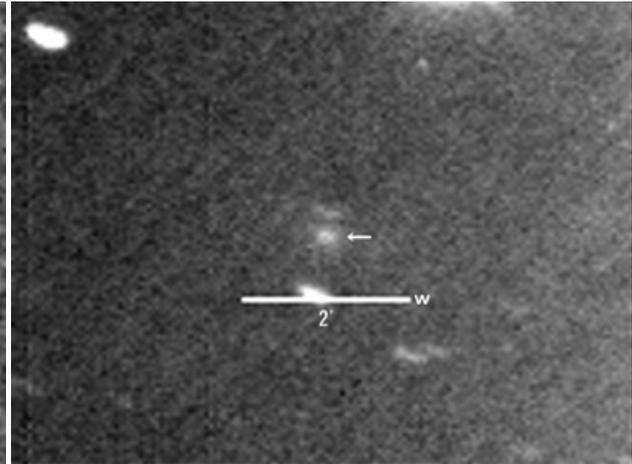
その他比較的明るい彗星は、10P/Tempel 2(写真 a)、29P/Schwassmann-Wachmann 1、P/2005 K3 (McNaught)、C/2003 WT₄₂(LINEAR)、P/2005 R2 (Van Ness)、101P/Chernykh (写真 b)などであった。



(写真 a) 10P/Tempel 2 2005, 12, 29

23h 28.6m ~ 37.6m (JST) exp. 240s x2 25cm L + CCD

長野県長野市 大島雄二氏



(写真 b) 101P/Chernykh 2005, 12, 29

21h 14.0 ~ 31.6m (JST) exp. 240s x4 25cm L + CCD

長野県長野市 大島雄二氏

当幹事江崎裕介氏の訃報

大変悲しいお知らせです。長年天文家として、そして耳鼻科の良き医師として活躍してこられた江崎さんがこの12月14日急逝されました。心よりご冥福をお祈りいたします。昨夜(26日)天文台にいた所、OAA 理事長の藪保男さんからお電話があり、ドームの中で知りました。天窓からいつに無く清らかなオリオンの星座が輝いていました。

江崎さんは、今は星となってこのオリオンあたりを飛んでおられるかも知れませんが、長年 OAA の会員として、そして立派な彗星の観測家として活躍されて来た江崎さん、若くして他界された江崎裕介さんの名は小惑星(9756) Ezaki の宇宙に輝く限り忘れられる事はありません。数年ほど前大阪の天文家の団体に混じって小さなリュックを背負って私の家にこられ、最後まで居残って熱心にお話された面影が今もありありと思い出され悲しみを誘います。氏の逝去が今も信じられません。

謹んでお知らせいたします。(合掌)(関 勉)

* 悠久の生命からみれば、一瞬の出会いと別離はあたかも Comet Ezaki のようで、僅かな期間でのお付き合いは、はかない夢のようでした。大野での彗星会議のことや、芸西天文台見学でのことは、淡く尾を引くように残影となって記憶がよみがえります。暫くのお付き合いとはいえ、同じ時期に彗星課幹事をお引き受けしたことや、小惑星の命名がそうだったことから、何となく不思議な因縁めいたものを強く感じていました。身体

の不具合を訴えてからは日にちが経ち、そろそろ観測を再開して、再び明晰で流麗な文章にふれると楽しみにしていただけに、その訃報のショックは極めて大きく、まことに残念でなりません。

こころから冥福をお祈り申し上げます。(福井県：幹事 松本敏一)

* 26日の夜、藪理事長さんから江崎裕介さんの訃報を聞いて、言葉がありませんでした。思えば、2002年4月に関勉さんから彗星課の幹事を引受けてくれるように依頼を受けたとき、江崎さんと福井の松本敏一さんにもお願いしていると言われ、お二人と一緒に引受けるのであれば心強いと思ひ引き受けしたのです。

大阪支部の方々のように長いお付き合いではありませんでしたが、三鷹の国立天文台で彗星会議があったとき、初めてお目にかかったのですが、お互い初めてのような気がしませんでした。その後お父さんを亡くし、江崎さん自身も原因不明の腹部不快感・疼痛は一向に治らず体調が思わしくないと言っておられ、皆で心配していました。

私達幹事の中で一番若い江崎さんが私と松本さんを兄のようだと伝えてくれたことがありました。私は30年前の12月に弟を亡くしていましたのでそう伝えてくれたのがうれしかった。しかし、また弟を亡くしたようで非常に悲しい思いです。

心からご冥福をお祈りいたします。合掌 (福島県：幹事 佐藤裕久)

oaa-comet ML や comet-obs ML で次のようにお悔やみの言葉が寄せられた(順不同)。

* 突然の悲報に言葉が出てきません。まさかという言葉が心の中で繰り返すだけで、信じられません。少し前にお会いしたのち、今年になって調子がよくないということ風を便りに伺っていたのですが、。

心よりお悔やみ申し上げます。(埼玉県：門田健一)

* 18日の大阪例会にも顔が見えなかったため、長谷川先生にも江崎さんの事を尋ねたところでした(最近顔を見せないとのことでした)。自分よりも、年齢の若い星仲間が亡くなるとは、非常に残念なことです。。。。。(高知県：村岡健治)

* 突然の訃報に愕然としました。体調がすぐれないとは聞いていていましたが。。。。

彗星の精測を始めたのも、江崎さんの勧めからでしたし、観測が軌道に乗るまでずいぶんメールでやりとりをしました。本当に残念です。

心から御冥福をお祈りします。(長野県：大島雄二)

* 信じられません。江崎さんのホームページ「天界・山歩・電波」はたびたび訪問していました。光度測定のこと、位置測定のこと、まだまだお聞きしたいことがあったのに誠に残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。(合掌)(滋賀県：中川善治)

* 個人的ですが、2001年の10月7日、大阪に出張になったとき、わざわざ宿泊の業務を作り、江崎邸を訪問して、アストロメトリカの使い方を懇切丁寧に伺ったのが私の位置測定が始まりでした。豊中の空と、私の撮影している環境が似ているのに、低空で暗い

彗星の観測をされているのがとてもすばらしく思われ、撮影中に携帯電話でお互い撮影対象を話していたこともあります。特に、2002年 15P/Finlay の夕空低空の観測が印象的でした。2003年の彗星会議ではすれ違い、12月にはお父様の具合が悪くて逢えず、結局一回しかお目にかかったことはないのですが、とても親しくさせていただきました。「CCD カメラと Astrometrica による 彗星観測の楽しみ」は今でも座右の書です。ご冥福をお祈りします。(神奈川県：高松 覚)

* 私もここ1年ほど支部例会に全く姿を見せないで、年が明けたらまた来てくださいと声を掛けようと思っていた矢先です。48歳だった由。当日急に倒れられて救急車で運ばれましたが帰らぬ人となったとのことです。
ご冥福をお祈りいたします。(大阪府：原田昭治)

* 三鷹での彗星会議でお会いしたときから、体調が悪いとは仰っていましたが、あまりに急な話で、信じられません。天界に記事(『コメットハンターは生き残れるか?』)を書くように勧めて下さったのは江崎さんでした。それがきっかけとなって自分のホームページも作る事となったのです。大変活発で情熱的な観測者であられましたし、多くの人に刺激を与えてられました。残念でなりません。
ご冥福をお祈りします。(新潟県：村上茂樹)

* 江崎さんの急な訃報があり、たいへん驚いています。当 ML(oaa-comet ML)の管理者もされていた江崎さんの御冥福を、謹んでお祈り申し上げます。(神奈川県：吉田誠一)

* 昨夜、佐藤裕久さんから連絡があり、しばらく心臓がドキドキしました。江崎さんとは ML だけでなく、個人的にもメールでいろいろご指導いただきました。何枚もの天体画像を送っていただいたり、軌道計算プログラムで苦闘している時に激励のメールを頂いたりしました。それに、やっと CCD で彗星を追いかけられるようになった私を、本 comet-obs ML への参加のお誘いを下さったのは江崎さんだったのです。昨夜はずっと江崎さんのウェブページを見ていました。ウェブページが削除される前に形見にと思い、ウェブページ全体をダウンロードしながらご冥福をお祈りしました。本当に残念で悲しいことです。(高知県：下元繁男)

* 江崎裕介氏の訃報、突然のことで信じられない気持ちです。
ご冥福をお祈りいたします。(山口県：吉本勝己)

* 江崎さんの訃報には本当にびっくりしたとともに、悲しいです。2年前だったか長谷川先生の喜寿を祝う会で、江崎さんとともに「天体写真の写し方」に藤井旭さんとサインをいただいたことを思い出します。(和歌山県：津村光則)

* 突然の訃報に接し、信じられない思いです。いつか直接お会いする機会もあるかと思っていたのですが、大変残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。(栃木県：鈴木雅之)